

PFW 6870

大型マルチ用壁付ハンガー
設置説明書



目次

搭載質量制限	2
安全上のご注意	2
設置に必要な器具	3
パーツリスト	3～4
本製品の特徴	5
設置作業	6
はじめに	6～7
左右ブラケットの取り付け	8
取り付けねじの確認	8
ユニバーサルワッシャーの取り付け	9
ユニバーサルスペーサーの取り付け	9
ブラケットのディスプレイへの取り付け	10
ディスプレイの取り付け	10
本体への取り付け	10
固定用安全ねじの締付	11
ディスプレイ取り付け後の調整	11～13
メンテナンス、点検	14
保証書	15

搭載質量制限

最大搭載質量

72kg

37型～65型

本製品を取り付ける壁面は、少なくとも搭載するディスプレイの5倍の質量を支えることが可能であることを事前に確認してください。そうでない場合は、壁面を別途補強して設置してください。

安全上のご注意



本製品の設置作業を行う前に、本書の設置手順を十分に確認してください。設置後も、いつでも参照できるように本書は保管してください。



設置作業は、本書の手順を十分に参照の上、施工業者が行ってください。深刻な物損事故、場合によっては怪我や死亡につながる事故の原因となる恐れがあります。



設置中は、常に安全確認を行ってください。事故を防止するために、設置に適切な機器、ツールを使用してください。



想定する製品本来の使用方法に反する使用、あるいは無許可の付属品や改造に起因する損傷を保証できません。また、そのような製品本来の使用方法に反する使用、あるいは無許可の付属品や改造に関連して発生する損害、請求、要求、訴訟に対し、責任を負いません。



設置作業は、2名以上の施工業者によって行ってください。ディスプレイの落下や取り扱い上の不具合から、人身傷害や物的損害を引き起こす可能性があります。



壁の間柱や天井スタッドに取り付ける場合は、スタッドファインダー等を利用して、取り付けネジを壁の間柱や天井スタッドの中央に固定されていることを確認してください。



取り付け環境に注意してください。

取り付け面に対して穿孔あるいは掘削する場合、常に電気配線が壁の中に無いことを確認してください。電気配線に接触した場合、重大な人身事故を引き起こす可能性があります。



取り付け面に対して穿孔や掘削する場合、常に水道や天然ガスのパイプが壁の中に無いことを確認してください。水道や天然ガスのパイプに接触した場合、重大な人身事故や物的損害を引き起こす可能性があります。



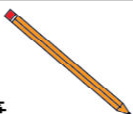
本製品は、屋内でご使用ください。本製品を屋外で使用した場合、製品の故障、あるいは重大な人身事故や物的損害を引き起こす可能性があります。



高熱源の近く、可動する場所、振動や衝撃が加わる可能性がある場所に設置しないでください。

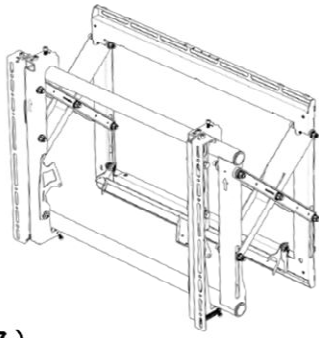
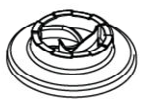
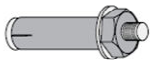
設置に必要な器具

必要に応じて、以下のツールを準備してください。

 スタッドファインダー	 鉛筆	 保護メガネ	 電動ドリル	 6mmビット
 水平器	 13mmソケット	 プラスドライバー	 ソケットレンチ	

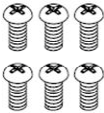
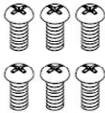
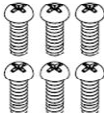
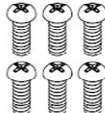
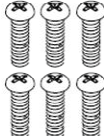
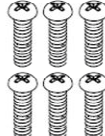
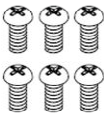
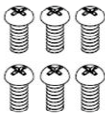
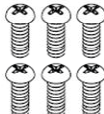
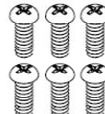
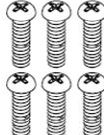
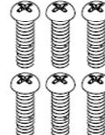
パーツリスト

PFW 6870 部品一覧

 本体(ベース) 1台		 左右ブラケット 各1個		
 呼び8平座金 4個	 ユニバーサル スペーサー 12個	 六角レンチ 1個	 ねじ穴指針 (深さ測定用) 1本	 ユニバーサル ワッシャー 6個
取り付け金具				
 φ8アンカーボルト(コンクリート用) 4個		 φ8 x 76mm ラグねじ 4本		

パーツリスト

取付金具

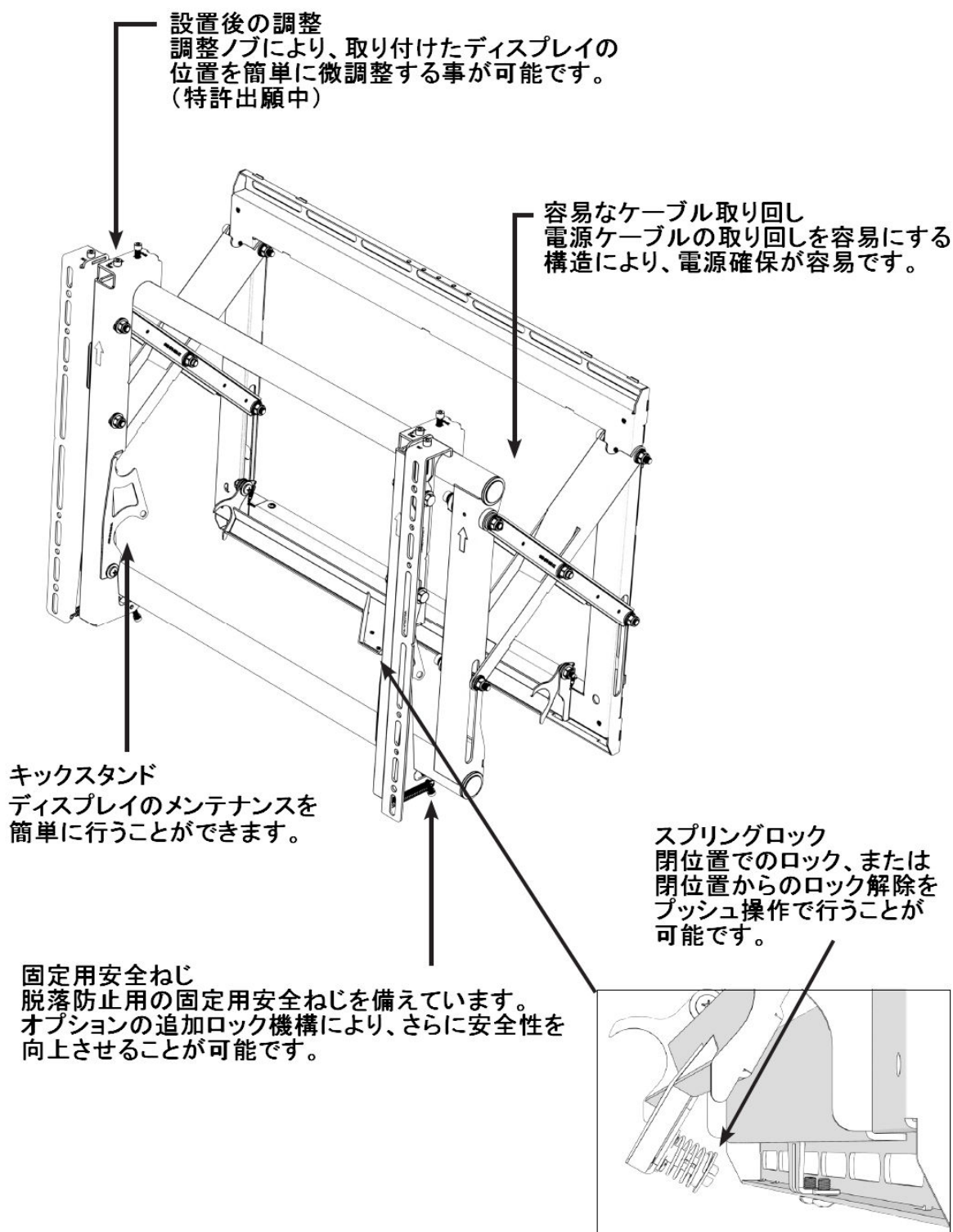
M4 x 12mm ねじ 6個 	M6 x 12mm ねじ 6個 
M4 x 16mm ねじ 6個 	M6 x 16mm ねじ 6個 
M4 x 25mm ねじ 6個 	M6 x 25mm ねじ 6個 
M5 x 12mm ねじ 6個 	M8 x 12mm ねじ 6個 
M5 x 16mm ねじ 6個 	M8 x 16mm ねじ 6個 
M5 x 25mm ねじ 6個 	M8 x 25mm ねじ 6個 

本製品の特徴

PFW6870 大型マルチ用壁付ハンガーは、マルチモニターに対応し、オープンデザイン、ユニバーサルスペーサーと、シザー機構を備えた、縦、横、奥行きレベル調整が可能なビデオウォールマウントシステムです。

シザー機構は、ケーブルの設置、取り回し、メンテナンスを容易にします。

ユニバーサルスペーサーは、特殊なディスプレイの取り付けを可能にします。

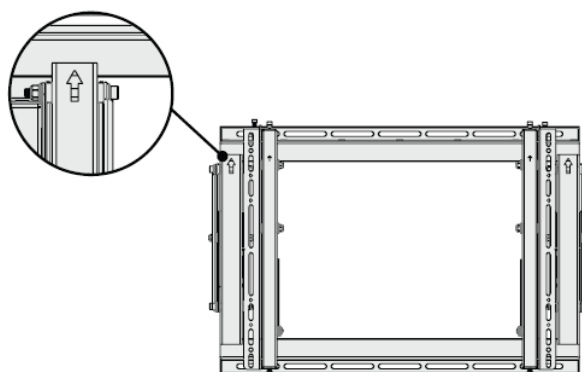


設置作業

はじめに

上下の確認

上下を確認するために、印が付けられています。
設置の際に方向を確認してください。



安全上のご注意

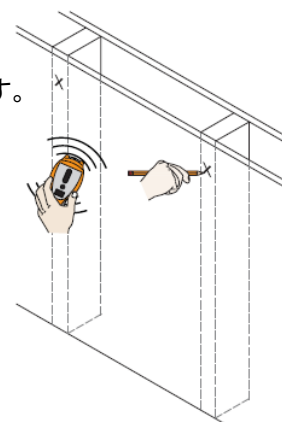
2名以上の作業で設置作業を行ってください。

ステップ 1



本製品の設置においては、2箇所の壁スタッドに、ラグねじを使用して、
4箇所で固定してください。ひとつの壁スタッドに対し、2箇所の固定箇所が必要です。

- 1) スタッドファインダーを使用して、設置予定箇所付近の壁スタッドの中心を正確に確認してください。
- 2) 確認した中心に、鉛筆で印を付けてください。

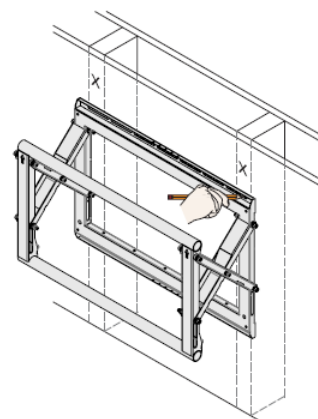


ステップ 2

この作業は、2名で行ってください。

1名は本製品を水平に支え、もう1名が壁スタッド位置に印を付けてください。

- 1) 設置予定箇所に本製品をあてがってください。
- 2) 本製品のねじ止め用スロットが、それぞれに対する壁スタッドの中心にねじ止めを行える位置になるように、位置を調節してください。
- 3) 本製品が水平であることを確認してください。
- 4) 右上のねじ止め位置に、鉛筆で印をつけてください。

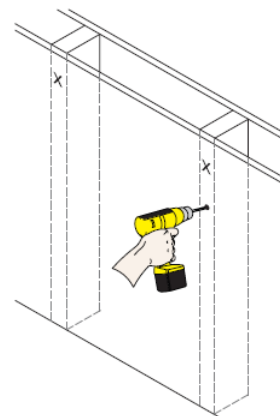


ステップ 3

6mmドリルを使用し、右上のねじ止め位置の印の中心に下穴を開けてください。



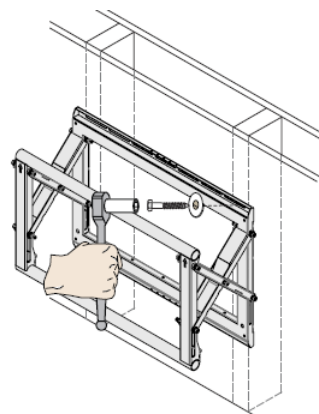
必ず 6mm ドリルを使用して下穴を開けてください。



設置作業

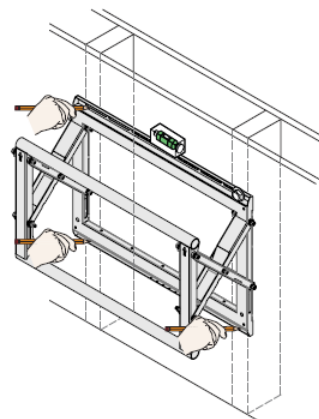
ステップ 4

- 1) ステップ 3 で開けた下穴に合わせて、再び本製品をあてがってください。
- 2) 本製品をあてがった状態で、 $\phi 8 \times 76\text{mm}$ ラグねじに、呼び 8 平座金を取り付けて、右上の下穴にねじ止めしてください。
- 3) 13mm ソケットをソケットレンチに取り付けて、ラグねじを締めこんでください。
この時、ラグねじを締めすぎないでください。



ステップ 5

- 1) 本製品が水平になるように位置を調整してください。
- 2) まだねじ止めされていない、右上以外の 3 箇所に、壁スタッドの中心を確認した上で、鉛筆で印をつけてください。

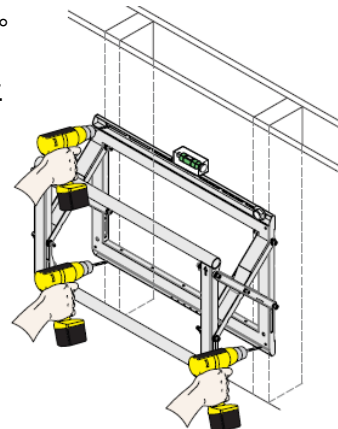


ステップ 6

-  この作業は、2 名で行ってください。
 1 名は本製品を水平に支え、もう 1 名が印の位置に下穴を開けてください。

- 1) 6mm ドリルを使用し、ステップ 5 でつけた 3 箇所の印の、それぞれの中心に下穴を開けてください。

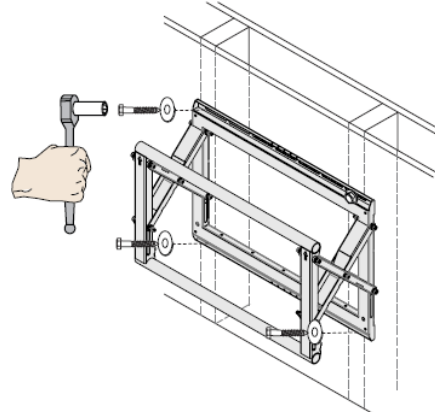
-  必ず 6mm ドリルを使用して下穴を開けてください。



ステップ 7

- 1) 本製品をあてがった状態で、 $\phi 8 \times 76\text{mm}$ ラグねじに、呼び 8 平座金を取り付けて、3 箇所の下穴に挿入してください。
- 2) 13mm ソケットをソケットレンチに取り付けて、すべてのラグねじを締めこんでください。

-  ラグねじを締めすぎないでください。
 誤った方法で設置した場合、人身傷害や物的損害を引き起こす可能性があります



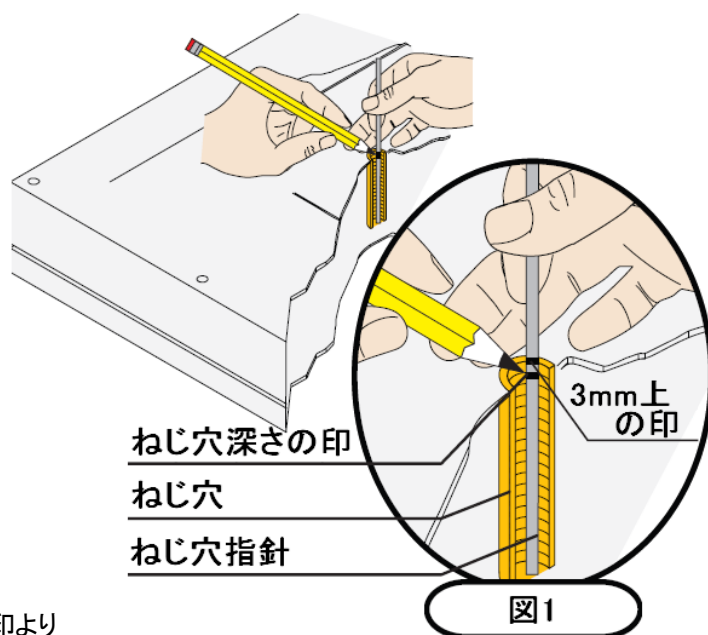
左右ブラケットの取り付け

取り付けねじの確認

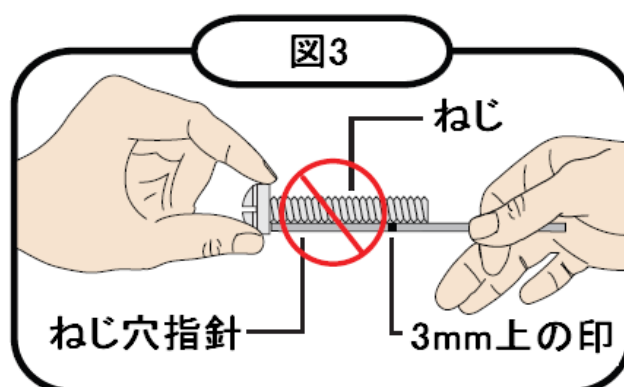
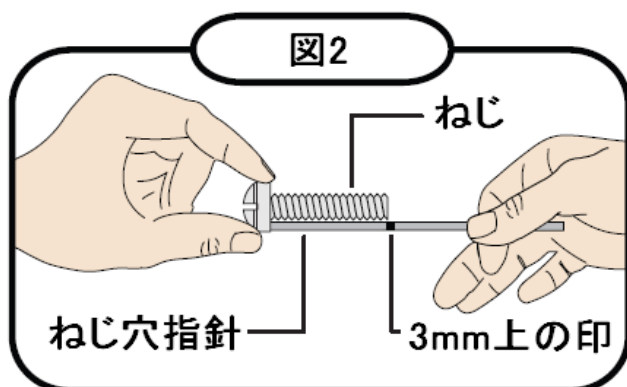
- 1) ねじ穴指針を、ディスプレイ背面のねじ穴に差し込んでください。
- 2) 鉛筆を使用して、挿入したねじ穴指針に、ねじ穴の深さを示すように、印を付けてください。
- 3) ねじ穴の深さを示す印から、3mm 上にさらに印を付けてください。(図 1 参照)
- 4) ねじ穴指針の印を使用して、ディスプレイの残りのねじ穴の深さを、確認してください。
- 5) ディスプレイの取り付けに使用するねじの長さを確認してください。



使用するねじの長さが、ねじ穴指針のねじ穴の深さを示す印から、さらに 3mm 上の印より長い場合は、そのねじは使用しないでください。(図 2、図 3 参照)
ねじの長さが、印を超えていないことを確認してください。



- 6) すべてのねじの、ねじ径の確認を行ってください。
正しいねじ径の場合、ディスプレイのねじ穴に軽くねじ込むことができます。
また、軽くねじ込んだ時に、抜けたり、がたついたりしないことを確認してください。



左右ブラケットの取り付け

ユニバーサルワッシャーの取り付け

付属のユニバーサルワッシャーは、M4、M5、M6、M8 の各ねじに対応しています。



ディスプレイの背面に、不必要な力を加えないようにしてください。
ディスプレイの故障の原因となる場合があります。



ユニバーサルワッシャーは、図のように、ねじとブラケットの間に取り付けてください。

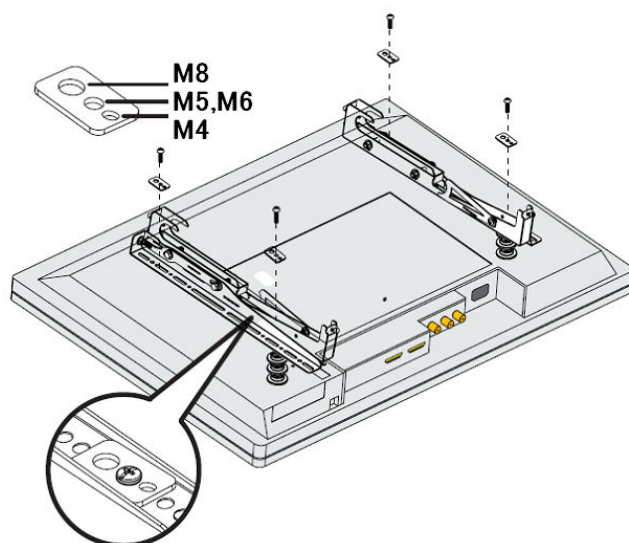


ディスプレイについて確認してください。

- 本製品に取り付ける部分が凹みになっている。
- 本製品に取り付ける各部分が水平に配置されていない。
- 背面が湾曲している
- 本製品に取り付ける各部分の付近に突起物がある。

上記に該当する場合は、ユニバーサルスペーサーを使用して設置する必要があります。
ディスプレイの背面から取り付けブラケット、ユニバーサルワッシャーおよび取り付けネジを外し、9 ページの「ユニバーサルスペーサーの取り付け」へ進んでください。

上記に該当しない場合は、10 ページの「ブラケットのディスプレイへの取り付け」へ進んでください。



ユニバーサルスペーサーの取り付け

ユニバーサルスペーサーを使用することにより、凹んでいるディスプレイや凹凸のある箇所に取り付けブラケットを取り付けることができます。

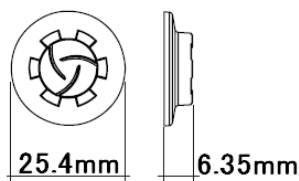
ユニバーサルスペーサー1 個につき、取り付けブラケットとディスプレイの隙間を、約 6mm 埋めることができます。



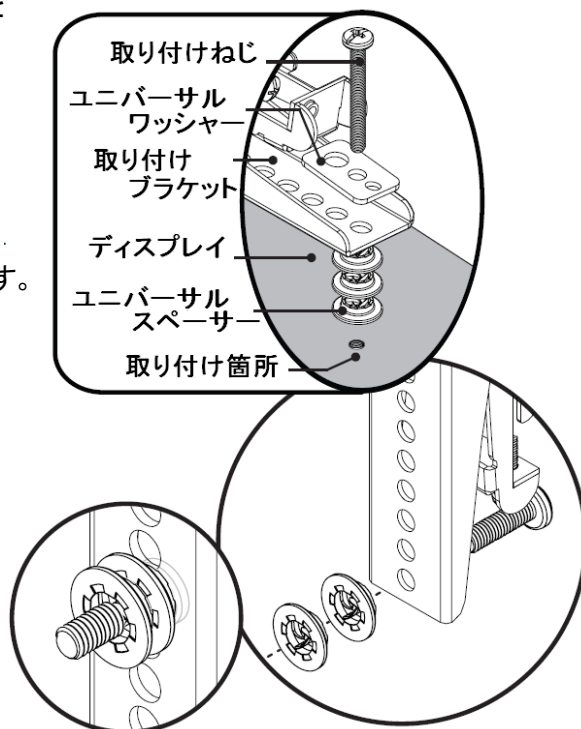
ユニバーサルスペーサーは積み重ねるように右図のように取り付けてください。



ユニバーサルスペーサーは取り付けブラケットとディスプレイとの間に設置されている必要があります。



ユニバーサルスペーサー
M4、M5、M6、M8の各ねじに対応しています

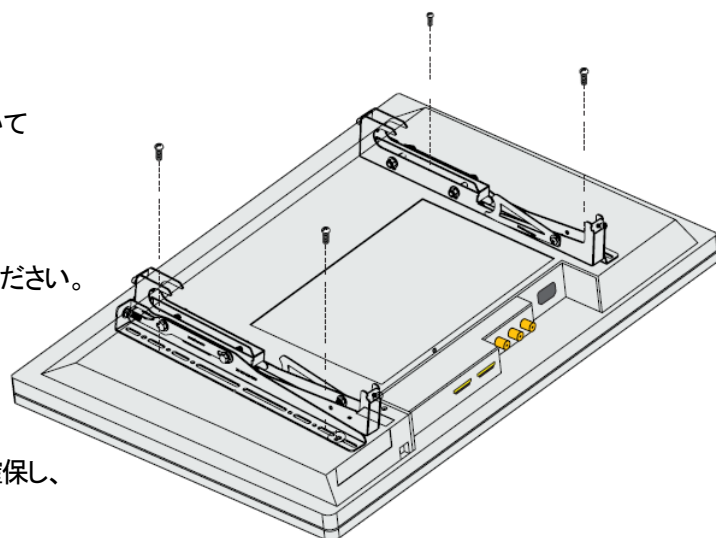


左右ブラケットの取り付け

ブラケットのディスプレイへの取り付け

本作業の前に、本説明書「取り付けねじの確認」において確認した取り付けねじをご用意ください。

- 1) 取り付けるディスプレイをカートンケース、毛布等の平らなクッション材の上に画面を下に向けて置いてください。
- 2) ディスプレイの背面の、取り付けねじの数と場所を確認します。
- 3) 取り付けブラケットとディスプレイの背面にある、ねじ位置を合わせてください。
- 4) 各取り付けブラケットに、2箇所以上の固定箇所を確保し、ディスプレイに各取り付けブラケットを固定します。



 ディスプレイによっては水平に寝かせることができない機種もあります。
ディスプレイの取扱説明書にて、必ず確認してください。

 取り付けねじを締めすぎないでください。
各取り付けブラケットの方向矢印が上を向いていることを確認してください。

ディスプレイの取り付け

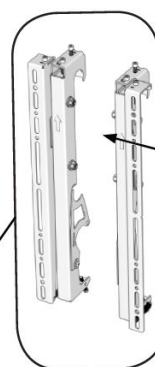
本体への取り付け

 取り付けブラケットは、工場出荷時に標準的な位置設定が行われています。(右図の注意を参照ください)

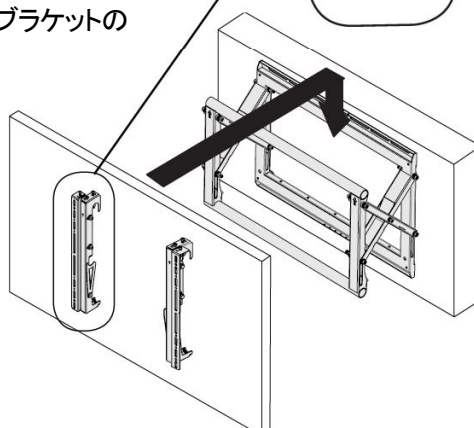
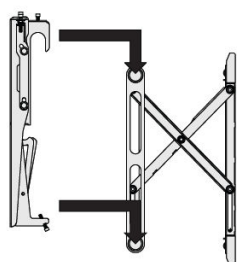
本作業は、2名以上の作業で行ってください。

 両方の取り付けブラケットの上部と下部のフックが、確実に本製品の上下の取り付けレールに装着されていることを確認するまで、支えているディスプレイを放さないようにしてください。

- 1) 壁に取り付けた、本製品の取り付けレール上下より高い位置にディスプレイを持ち上げてください。
- 2) そのまま本製品に近づけ、ゆっくりとディスプレイを下げてください。
- 3) 本体の取り付けレールに、取り付けブラケットの上部と下部をかみ合わせてください。



注意
位置設定はディスプレイの設置前に揃える必要があります。工場出荷時に、標準的な設定がされていますが、取り付け前に確認してください。



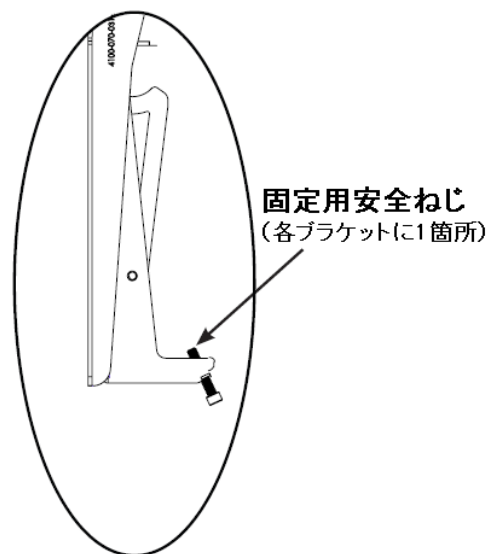
左右ブラケットの取り付け

固定用安全ねじの締付

 ディスプレイの脱落防止のために、固定用安全ねじを備えています。

- 1) 取り付けブラケットのそれぞれの下部に取り付けられている、固定用安全ねじの位置を確認してください。
- 2) 固定用安全ねじを、付属の六角レンチを使用して締めてください。

 必要以上に固定用安全ねじを締めないでください。



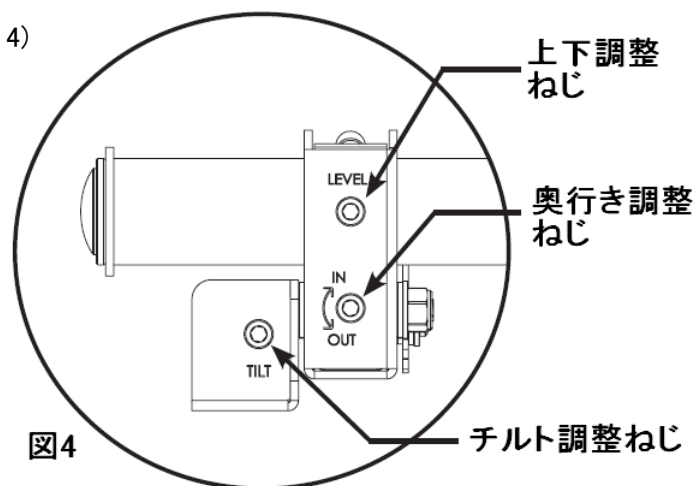
ディスプレイ取り付け後の調整

本製品は、ディスプレイ取り付け後の調整を行う機構を、各取り付けブラケットに備えています。(図4)
付属の六角レンチを使用して調整してください。

 調整を行う前に、必ず固定用安全ねじが緩んでいることを確認してください。

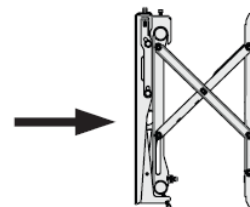
注意

ディスプレイや、ねじ穴の損傷を避けるため必要以上にねじを締め込まないでください。
調整中に手を挟まないよう注意してください。

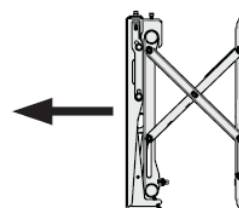


奥へ移動

左右ブラケットの奥行き調整ねじを同じ向きへ回すことによって、ディスプレイの奥行きを調整できます。



手前に移動



ディスプレイ取り付け後の調整

左右ブラケットの奥行き調整ねじを違う向きへ回すことによって、ディスプレイの左右への傾きを調整できます。

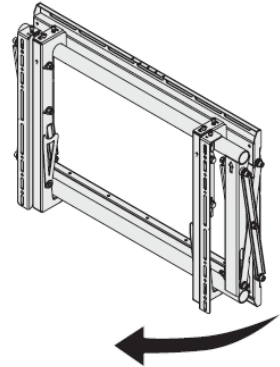
左傾き



左ブラケット調整ねじ



右ブラケット調整ねじ



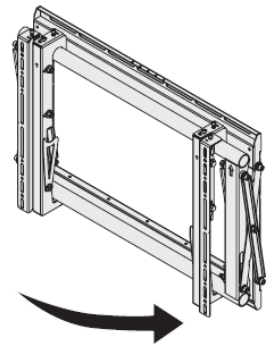
右傾き



左ブラケット調整ねじ



右ブラケット調整ねじ



左右ブラケットのチルト調整ねじによって、ディスプレイの上下への傾きを調整できます。

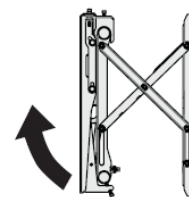
上傾き



左ブラケット調整ねじ



右ブラケット調整ねじ



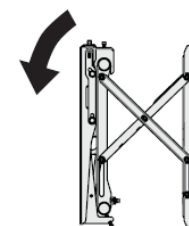
下傾き(上傾き位置より)



左ブラケット調整ねじ



右ブラケット調整ねじ



ディスプレイ取り付け後の調整

左右ブラケットの上下調整ねじを同じ向きへ回すことによって、ディスプレイの高さを調整できます。

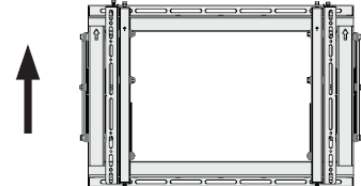
上げ調整



左ブラケット調整ねじ



右ブラケット調整ねじ



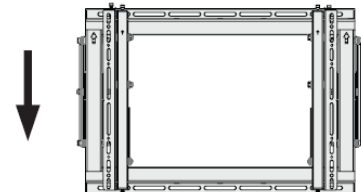
下げ調整(上げた位置より)



左ブラケット調整ねじ



右ブラケット調整ねじ



左右ブラケットの上下調整ねじを違う向きへ回すことによって、ディスプレイを回転させることができます。

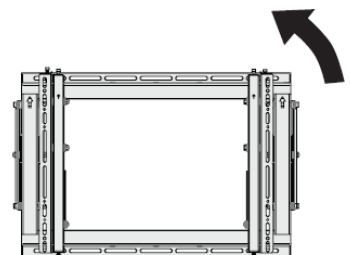
左回転



左ブラケット調整ねじ



右ブラケット調整ねじ



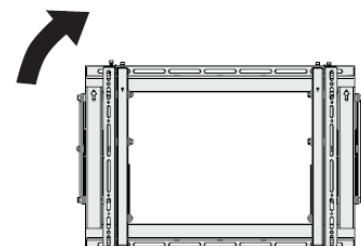
右回転



左ブラケット調整ねじ



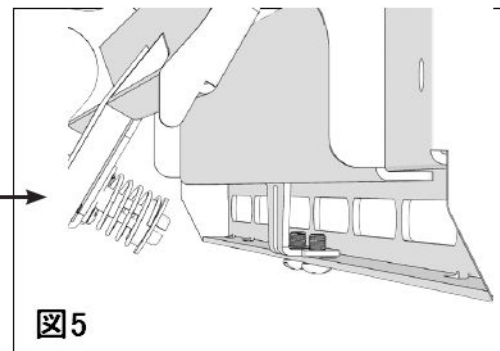
右ブラケット調整ねじ



メンテナンス、点検

- 1) スプリングロックを解除するために、
本体を正面から均等に押し込みます。(図5)
- 2) アームを広げるために、ゆっくりと本体の
前面を引いてください。(図6)
- 3) 両ブラケットの固定用安全ねじを緩めてください。
- 4) ディスプレイの底部を持ち上げ、本体の取り付けレール下部に
対してキックスタンドを設置してください。(図6、7)

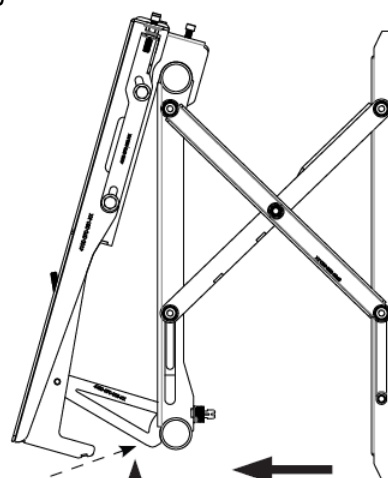
スプリング
ロック



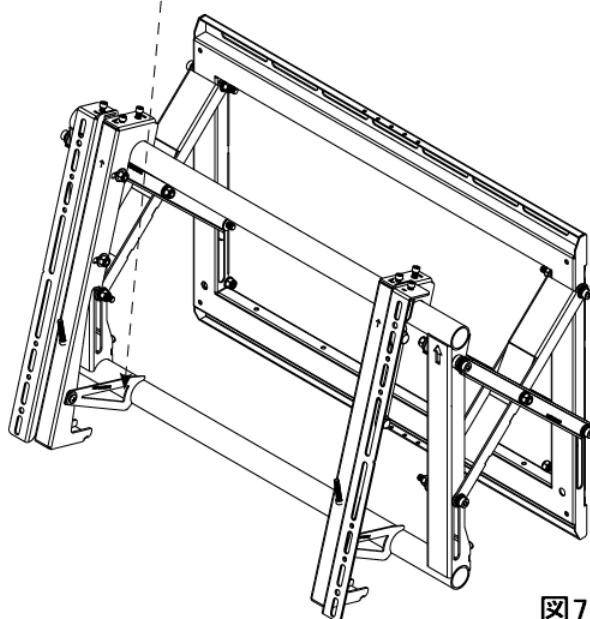
上記手順により、ディスプレイ背面のメンテナンス、点検を行うことができます。
メンテナンスや点検後は、本体を閉じて、スプリングロックが
再びロックされていることを確認してください。



作業中に手を挟まないよう注意してください。



キックスタンド





保証書

品名 **大型マルチ用壁付ハンガー PFW6870**

お客様名：

お取扱店：

ご購入年月日：

住所/TEL：

保証期間

ご購入の日より

本体

1 カ年

1. 保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。

(1) この保証書のご提示がない場合。

(2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。

(3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。

(4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。

(5) 火災や天災等による故障および損傷。

(6) 消耗品および付属品の交換の場合。

(7) ご使用により発生した本製品表面の汚れ・損傷に関する修理。

2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。

■ 本書にご購入年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちに買い上げ取扱店にお申し出ください。

※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。

Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱店または下記コンタクトセンターにお問い合わせください。

株式会社 **オーエス**

株式会社 **オーエスプラス^e**

コンタクトセンター

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL: 0120-380-495 FAX: 0120-380-496

(受付時間: 平日 9:00~18:00 ※土日祝日を除く)

E-mail: info@os-worldwide.com